

## 令和4年度第2回「金沢の未来を語る会」

- ・日時：令和4年10月20日（木）18時30分～
- ・場所：金沢港クルーズターミナル セミナールム

### 1 開会

#### 【村山金沢市長】

皆さん、こんばんは。

今日は夜遅くの時間にお集まりいただきまして、ありがとうございました。

今回、金沢の未来を語る会として開催をさせていただいたところ、このように多くの方、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

公民館と校下婦人会の方々にお声をおかけして、4回開催する予定であります。4回、同じ内容なんですけれども、その中の2回目ということで今日開催させていただきます。

また別途、町会の方々に対しては、まちづくりタウンミーティングを開催しておりますけれども、今回、全部の地区を対象にして、9回に分けて開催をしているというところであります。

後ほどご説明いたしますけれども、今年度と来年度の2か年かけて、これから10年間にわたる都市像を策定していくことになります。それに当たっての地域の方々からのお声を伺った上で都市像を策定したいというように考えておりまして、そのようなお話を後ほどさせていただく予定であります。

今日は、限られた時間でありまして、忌憚のないご意見をいただいて、また将来の都市像の作成に向けてご意見を賜ればというふうに思っております。

よろしく願いいたします。

### 2 市長講話「親和力で奏でる金沢」

市長講話の内容については、レジュメを参考願います。

### 3 意見交換

#### 【栗崎公民館】

私、ものづくり会館で市長のお話を聞かせていただきまして、しっかりとまた聞きまして、内容を非常に把握することができました。大変いろんな点をやっていくということにおいては大事なことだし、基本は心を豊かにするということに多分あるんだろうなと思うんです。そのところは、じゃどういうふうなものができるのか。私自身も今日も看護学校で教えてきて、いろんな看護学校の生徒さんを見ると、年齢がいった人も入ってきたりして、いわゆる社会経験をされている方が。それでまた子どもさんを持っている人が入ってきて。そういう仕組みづくりというのは、とても大事だと思うんですね。

だから具体的にどういった仕組みか。幾つか出しているんですけども、これを機会にというか、都心にそういう施設を置くだけでなく、周辺、後でまた言おうと思っているんですが、この界限、例えばうちは栗崎ですけども、今までどっちかという埋没していたような状況があるように思うんですが、そういう周辺の地域にどういった仕組みづくりを持ってくるかということもあるのではないかなと。具体的などころというのは、なかなか言いにくいと思います。

でも、公民館を活用するというのは大変重要だと思うんですね。公民館って、基本的に今言うまでもないんですが、いつも僕は言うんですね。集う、学ぶ、そしてつながるんですと。そういうことにおける集う場所であるということ。そういう場が地域にちゃんとあるということ。言うまでもないことで釈迦に説法かもしれませんが、そういうふうな公民館の立ち位置も大いに活用する。それにプラスアルファして、周辺にどんな仕組みを考えられているか、考えるかというところを最初に聞きたいなと思いました。

#### 【村山金沢市長】

ありがとうございます。

他県などの経験をしている中で、公民館について、金沢の公民館の取組というのは物すごい評価が高いと思っています。公民館を核としたコミュニティの形成、また学び直しも含めて、そういった中核としての役割が非常に高いというように認識しております。

また一方で、公民館についての課題もあるかというように思います。一部分の特定の人に限られていないかなとか、そういったところも課題があるというように思います。

ここまで築かれてきた歴史をさらに進めるべく、また公民館の在り方についてもご相談をしていきたいなと思っているところであります。

そういった中で、これから周辺地域にどういった仕組みづくりをとということになるかと

思うんですけれども、もちろんだういった人がどういった対象になるかというところの種類分けは必要になるかと思うんですけれども、一番身近に金沢のことを学べて、あるいは楽しめて、交流ができてというところでの公民館の重要度というのはこれからさらにあるかというふうに思っておりますので、その辺りを生涯学習課とも相談しながらつくっていききたいなというふうに思っております。

#### 【安原公民館】

市長のお話をずっと聞いていて、やっぱり金沢っていいところやなと何遍も心に深く思いました。これを発展させるとか、ずっと続けていくというときに一番大切なのは人口だと思うんですよね。子どもが減少して人口がどんどん少なくなっていったら、結局何もできないんじゃないかなと思うんですよ。こういう話がここで出てくるとか思っていなかったのも記憶が曖昧なんですけれども、私はそこそこ年もいっているから福祉に力を入れていただきたいとはすごく思うんですけれども、子どもの環境とか子どもを産むとか育てるとかというところに突出したような税金を使っている都市がたしかあったような気がして、そういうところは子どもが1.47か、本当は2か3とかなっていかないと飛び出ているところがつくられないと思うので、お母さんなりお父さんなり、新しい家族が子どもを育てて大きくなっていくまでのもっと税金とかそういうのにお金を出すとか入れるということが金沢のこれからの未来を考えていく上に大事なのではないかなと思います。

#### 【村山金沢市長】

ありがとうございます。

ここは未来の都市像をつくる場ですので、まずは皆さんのご意見を伺って、これから政策に反映していくということになると思います。

例えば、子育てなどで力を入れているところとして、兵庫県の明石市などは有名であります。明石市のことは勉強させていただきながら、前の山野市政のときも一部分、施策化をしていったところがあるんですけれども、都市の成り立ち、構造としてどうなのかというところは、北陸の中心都市としての金沢と、あるいは周りに同じぐらいの都市がある明石市との違いというのはあるかというように思っております。

その中で、人口の動態をまず2つに分けさせていただくと、自然増減と社会増減というのがあります。自然増減は、そこで自然に生まれたり死んだりしていく人の増減です。社

会増減というのは、ほかの地域から金沢に来る、あるいは出ていくということの社会増減です。両方で分けて考えた上で、他都市と比べてよい環境をつくるというのが、両方あるんですけども、産み育てやすい環境にしていって生まれるということが自然増減ですね。社会増減は、ほかよりもいいところにしていく。これは子育てをいいところにしていくという意味もあるし、それ以外の要素もあると思うんです。子育て環境、あるいは子育てといっても子どもを産むときの環境なのか、あるいは育てていくときの環境なのか、様々あるというように思います。その辺りのどこに手を打ったら一番いいのかということに加え、さらに、金沢で住んでいくためには、住むための場所があるかどうかというところ。また、それが他に比べて競争力があるかということも考えなければいけないということで、非常に多層にわたって検討が必要になるかと思えますけれども、そういったことも含めて都市像を検討する中では考えていきたいというように思っております。

#### 【金石町地区校下婦人会】

いつもありがとうございます。

市長さんのお話をお伺いして、わずか3年余り、金沢市へお越しになったのに、本当に金沢のことをよく分かってくださって、私は、地元の方でなくて、ほかからの目線でこの金沢市をもっとよくして、また本物のよさの金沢市をつくり上げていきたいという思いをひしひしと感じて、とてもうれしく思いました。

金沢の中心地はすごく交通も便利ですし、まちなかのにぎわいもありますし、まちなかにいますと本当に金沢市に観光客のたくさんいらっしゃる様子を目にいたしますけれども、私たち住んでいます郊外ですけども、港のクルーズターミナルを中心に大きな50メートル道路が突き当たって、この通りも前は何も田んぼしかなかったんですけども、ほとんど空いたところがないくらいに50メートル道路の両サイドが立ち上がってまいりました。

ただ、クルーズ船も入ってきますけれども、横のこっちから入ってくる交通の手段がないんですね。縦の線はとても充実しておりますけれども、ちょっとお隣へ行くといってもなかなか交通の便がなくて、縦方向に金沢駅のほうばかり行くような交通システムになっております。ぜひ横の線の充実も考えていただいて。

港のほう、西部のほうは加賀野菜の産地でございます。栗崎さん、五郎島金時はブランドになっておりますし、ダイコンやスイカなんかは安原さんの名物です。二塚さんも二塚

カラシナという名物を持っていますし、この沿線は加賀野菜をたくさん作っていらっしゃるんですけども、だんだん後継者もなくて心配をしておりますけれども。

そんな中で、北前船の寄港地にもなりましたし、大野町や私たちの住んでいる金石町、いろいろな部分もたくさんありますので、何とか横のつながりが交通が便利でちょっと行けるという。車でないとお隣の栗崎さんまでも行けないという格好になっていますので、10年未来の金沢に何とか横の線が充実する、そんな交通網をぜひと思って、ひたすら思っております。

#### 【新保都市政策局長】

ご質問いただきまして、ありがとうございます。交通の所管の局長ですので、私のほうからお答えをさせていただきます。

金沢のバス路線は、金沢駅を中心に放射線状に広がっているという特徴がございます。そういう幹線のバス路線のほかに、その放射線状の沿線のところにフィーダー交通という枝線をどうやって配置していくか。それから、本当の郊外部になりますと中山間地域を中心に地域運営交通ということで、住民の方々が主体となって、そういうまた違った交通網を引いているという形態になっております。

今後、高齢社会になっていくということで、お年寄りが免許を返納する。その中で郊外部のお年寄りをどうやって交通網の中に入れていくかということが今後課題になっていると思っております。

今般、第3次交通戦略という新しい交通計画をつくっている中で、そういう郊外部、それから中心部、郊外部と中心部の間、そういうものの交通の政策について、根幹となる考え方を今年度末までにお答えするということになっていますので、その考え方ができたら、また具体的に地域ごとに、どのような交通網が必要かというのを地域の方々と検討させていただきたいというふうに思っております。

#### 【薬師谷地区校下婦人会】

地区ではないんですけども、当日、北部のほうの地域の日が自分の校下のイベントがあつて出れないので、今日ここに参加させていただきました。

私が思うのは、芸術文化という中で、あとスポーツ文化というお話がありました。金沢を見ますと、すごくよかったのは、金沢プールができて、あそこにオリンピックのフ

ランスチームが練習に来ていたというのも聞いたんですけども、その後、何も大会も、コロナのためだったのか知らないですが、何もイベントを聞いたことがありません。利用されたというか、広く市民に知らされたこともありません。

それから相撲で、高校相撲が毎年、卯辰山の相撲場で行われて、あれも全国大会で、相撲を目指していた子どもたちは、あそこが甲子園なんですね。みんなそういう思いで集まってくるんですが、ほとんどPRされない。その日、各地の公民館さんの社会体育大会の日とバッティングすることが多くて、本当に応援に行ったり話題にされることも少ない。でも、これはほかの相撲をやっていた人たちはみんな応援していたというし、そこを目指してやっていると思うんです。それがなぜかほったらかしのままで、新聞に優勝校がどうしたこうしたとなっても、金沢のまちの中で相撲の大会があったのを知っていますかといっても誰も知らないと思うんです。今こんなに大事なものがあるのに、何でPRされないのかなというふうに思っています。

だから、新しい挑戦とかしなくても、今もう活動されているのに生かされていないものがないのかということもお考えいただきたいなというふうに思います。よろしく願います。

#### 【村山金沢市長】

ありがとうございます。冒頭、今回、4回、公民館と校下婦人会の会議をさせていただきましたけれども、特にどこの地区ということではなく、来ていただいて構いませんので、そこはご遠慮なく願います。

そして、金沢プールについては、なかなか実は大きな大会の誘致ができていない中で、実は使っていただいているというものがあるんです。マスターズ水泳などをしていて、その辺りをどう来ていただくかというところまでは及んでいないのはそうなんですけれども、大きな大会というよりも参加者が楽しむ大会というような形のイメージが強いのかなというふうに思っています。

また、フランスチームとの間では交流を続けておりまして、この後のパリ五輪に向けても交流ができればというふうに思っております。

一方で、高校相撲は、私も見たんですけども、高校相撲も大学相撲もなんですけれども、相撲って見てみると楽しいものですね。市長になって初めてではあったんですが、相撲の力士は近くで見ないと、この体格のすごさが分からないような、いかつい筋肉ででき

た体をしていて、これがぶつかり合って真剣勝負をしているというのは非常によい大会でした。

一方で、テレビの放送もなければ、新聞社で後で知らせるだけというような状況でありました。現在、コロナ禍ということで、告知を恐らく控えているところがあるのかなというようにも思いますけれども、今後どのような形でやっていくか。これは共催している報道機関などとも協力をしながら検討していきたいなというように思っております。

#### 【薬師谷地区校下婦人会】

大会をやっていないときの例えば相撲場の安全とかいろんな場所ですね。私も高校時代に応援に行ったりいろいろしていたんですけども、あそこは使いやすい環境になっているのかどうかも含めて、全国に、みんなここへ集ってくる子どもたちというか、その芽を大事にしていきたいなと思います。

大相撲がどこか屋内でやることに金沢場所があっても来ると思うんですけども、大相撲がテレビで放映されていても、客席、結構女性が多い。ごひいきの力士にはタオルを振って一生懸命応援しているのを見ると、そういう層が金沢にあってもいいのかなというぐらいに思います。ぜひご検討ください。

#### 【村山金沢市長】

あそこの相撲場自体は、県でしたかね、たしか管理していると思いますけれども、そこは話をしてみたいと思いますし、ご意見として承っておきます。

#### 【栗崎公民館】

交通網のことは大きい問題があるので、栗崎から県庁に行こうと思ってもないんですよ、バスが。車でしか行けないというのも変な話で、そこで公共交通のほうは、しっかりと金沢市のほうで手当していただくといいなと。

僕が住んでいるのは内灘との境目なんです。そうすると内灘のそういった状況が目に見えるわけですね。それとの差が周辺の金沢市民がいかにも不便であるかということは都心に住んでいる方には分からないなと。そういう点で、僕は車で行けるからどこでも行けるんですが、車のない方にとって非常に、栗崎だけじゃないと思うんです。周辺の不便な部分に関しては、いろんなことをやるに当たっての、さっきの仕組みづくりにも入るんですけ

れども、ぜひ検討していただきたいなど。都心の文化施設を充実させるという、それもいいんですが、周辺にもそういうふうなものを持ってこれるような仕組みづくりもあっていいのではないかなと思うところです。

ついでに言わせていただくと、そこに徽軫灯籠がありますけれども、栗崎には木谷藤右衛門という非常に江戸時代に加賀藩をバックアップした豪商がいたわけですが、その木谷藤右衛門の資料というのが散逸しちゃっているんですね。というか、30年ほど前かな、資料を金沢市は受けなくて、資料は内灘のほうに行っているわけです。だから、文化財、文化資料、そういったものも大事にしていくという姿勢は、今はもちろんそういう方向で行くんだと思うんですけども、あまりおろそかにしないほうが。せっかくそういう文化遺産、歴史遺産があるにもかかわらず、あまり冷たい対応をされると困るなど。これからそんなことはないと思いますので、一応確認ということです。

#### 【村山金沢市長】

ありがとうございます。

1点目にいただいた公共交通網の関係、先ほど都市政策局長からも申し上げたとおり、公共交通のバス事業者、鉄道事業者については、公共交通の利用者がコロナ禍になって、がくっと落ちてきています。まずは、公共交通機関の維持をしなければいけないところからのスタートではありますけれども、そういったことも含めて、第3次金沢交通戦略のほうで検討していくことになります。

もう一つ、木谷藤右衛門の話であります。栗崎地域は、金石、大野との比較になってしまうといけなかもしれませんけれども、住宅開発等がしっかりと行われてきたこともあって、どのような形でその地域の振興をすればいいかというのは、恐らく金石、大野と違う形になっていくんだろうなというように思っております。現在、うちの文化財保護課のほうで地域のお宝としての登録を進めております。これが将来、指定文化財になっていくかどうか分かりませんが、そういった貴重なものに対して価値づけを今のうちにしていこうと。これによって開発と保存の調和ではありませんけれども、今後、昔から引き継がれてきた地域で資産だと思っているものがなくならないように、それを登録してしっかりと価値づけをしていこうという動きになっております。資料が内灘のほうに行った経緯とかは存じ上げないんですけども、今あるものに対して、それをしっかりと保存していく。そのような動きをさせていただいております。



#### 【諸江地区校下婦人会】

実をいいますと、中学校と小学校のエアコンが順次、教室についていると思うんですが、私は体育館をお借りして和太鼓をやっているんですけども、最近の夏は昔と違って、体育館自体が38度、40度近くになるんです。そこで子どもたちも夏とか、どんどん昔と違って気温が上がってきているので、体育館にはいつ頃エアコンがつくのかなと思ひまして、できれば早めに体育館にもエアコンをつけていただきたいなと思っております。というお願いです。

#### 【村山金沢市長】

エアコン設置は、かなり遅れているということは前の山野市長のときから、小中学校の普通教室から遅れていっておりました。コロナ禍になって、これでいいのかという状況にもなりまして、さらに特に一昨年については、学校の授業ができない期間があつて、夏休みに繰り延べした際に、エアコン設置が間に合わず大型扇風機でやったような、そういったところもありました。ですので、それを今順次つけていっているところになります。まず普通教室からということで、つけていっているのをご理解いただければというふうに思います。

体育館については、教育委員会に伝えておきますし、災害時の避難所にもなっていく、そういったところもありますので、この重要性については認識しているところであります。ですが、これからどの状況で、どの予算を使っていくかというところの配分の優先順位づけになっていくと思いますので、課題については認識させていただいたということで、ご了承いただければと思います。

## 4 市長まとめ

#### 【村山金沢市長】

改めまして、今日は遅い時間までありがとうございました。

様々なご意見をいただきました。これから先を見据えて、中長期的よりも早い段階でやらなければいけないところもあると思います。また、これからの都市像をつくっていくに当たって、大事なご意見もいただきました。

今日お答えできなかったところは、後ほど担当課からお答えさせていただきますけれど

も、これから今年度、来年度にかけて都市像をつくっていく中で、また皆様方のご意見をお聞かせいただければというように思っております。

今後ともよろしく願いいたします。今日はありがとうございました。